

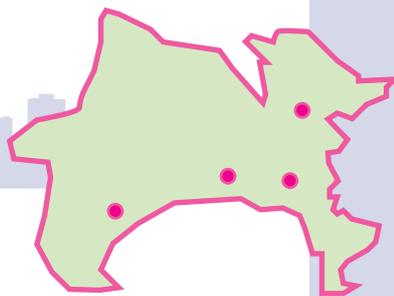
「景観法を活用した新しいまちづくり」

神奈川県内の活用事例に学ぶ

景観法が制定されてから既に年が経過し、各地でさまざまな活用がなされるようになりました。本シンポジウムでは、神奈川県内の各自治体における景観法活用事例を題材に情報交換を行ない、これまでの成果と課題について共通の認識を得るとともに、関係者間の議論を通して次のステップにつながるさまざまなアイデアを獲得したいと思います。

日 時：11/15 (土) 13:30～16:30

会 場：かながわ労働プラザ(Lプラザ)



1 主旨説明

高見沢実(横浜国立大学)

2 事例紹介

①小田原市における景観まちづくりの展開

藤川眞行(前小田原市理事・都市部長)

②鎌倉市における景観法の運用とその課題

比留間彰(鎌倉市景観部都市景観課)

③茅ヶ崎市における景観まちづくりの動向

卯月盛夫(早稲田大学/茅ヶ崎市景観まちづくり審議会会長)

④横浜市における景観法の運用と協議型まちづくり

川手光太(横浜市都市整備局都市デザイン室)

⑤神奈川県における景観行政の展開と現状

井上憲司(神奈川県県土整備部都市整備公園課)

3 パネルディスカッション

パネリスト 上記5名の事例紹介者

コーディネーター 国吉直行(横浜市立大学/横浜市)

高見沢実(上記)

定 員：100名

参加費：1000円(学生は500円)

申込方法：E-mail又はFAXにて、催物名称、氏名、勤務先、電話、一般及び学生を明記して下記へお申込み下さい

問 合 せ：(社)日本建築学会関東支部神奈川支所

TEL:045-201-1284 セミナ担当:岡部

E-mail:okabe@kanagawa-kentikusikai.com

CPDの登録：履修記録は、本会能力開発支援制度ならびに各建築士会・日本建築家協会のCPDに登録できます

主 催：日本建築学会関東支部神奈川支所



住 所：横浜市中区寿町1-4
アクセス：JR京浜東北線・根岸線
「石川町駅」下車徒歩4分